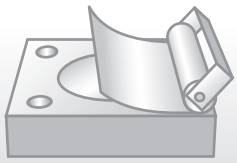
FUJIFILM

PRESCALE

圧力測定フィルム プレスケール 活用事例 [No.8]

測定対象



バックグラインドテープ貼り付けローラー

目的

バックグラインドテープ貼り合わせ圧の均一性確認

成果

- 調整時間短縮
- 品質向上
- ロス減

業種

半導体製造

用途

バックグラインドテープ貼り合わせ圧の均一性確認

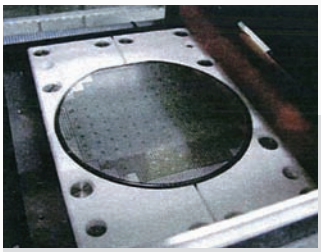
課題

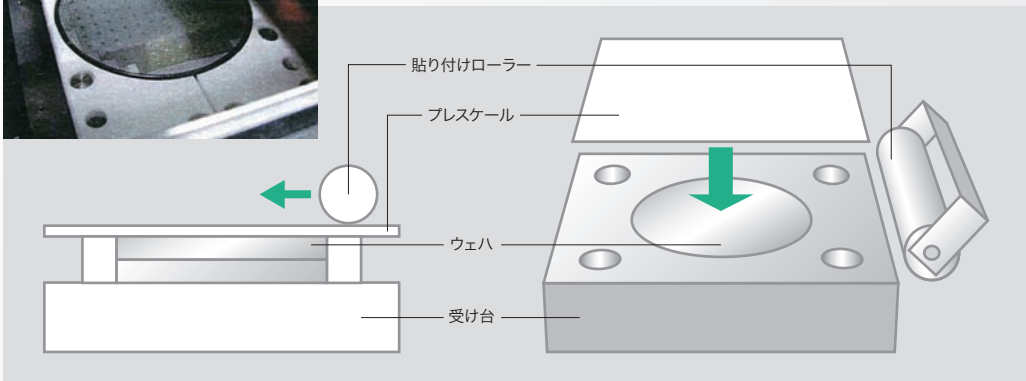
研削前のバックグラインドテープ（保護フィルム）を貼り合わせる工程。貼り付けローラーの圧力分布が不均一であると。バックグラインドテープにシワが入る。また、ウェハと外周の受け台の高さが最適でない場合、ウェハの割れやバックグラインドテープの貼り付け不良が発生。いずれも試行錯誤的に調整するしか方法がなかった。

測定

使用製品プレスケール（微圧用 4LW）

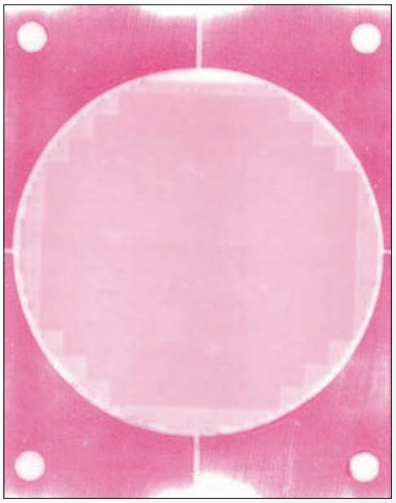
ウェハおよび外周部の上にプレスケールを置き、貼り付けローラーを転がして通常通り加圧。プレスケールを取り出して、発色濃度の分布から均一に圧力が加わっているかを確認する。





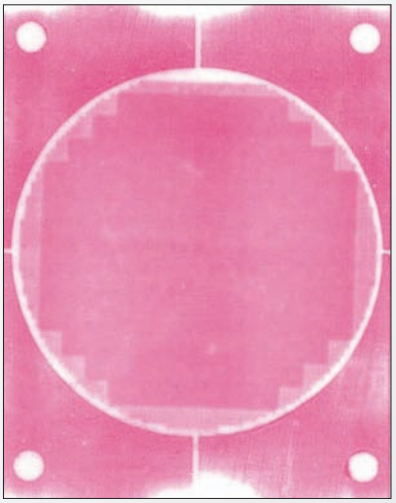
結　果（イメージ）

［不 良］



ウェハ部分に十分な圧力が加わっていない。

［正 常］



均一性が保たれている。

導入効果

● 時間ロス効果

装置の調整作業を大幅に効率化。

● 品質ロス効果

事前に均一性をチェックして不良発生によるロスを削減。
ウェハの割れを無くす。

プレスケールを使わない場合

シワが入りバックグラインドテープがロス、ウェハと外周部の高さ調整が悪いとウェハの割れも発生。リカバリーも貼り合わせ結果から試行錯誤を繰り返して調整。テープやウェハなど**材料ロスが発生し、調整等にも時間がかかる。**

プレスケールを使用した場合

ウェハにかかるローラー貼り付け圧を実際の使用条件で確認することができる。実際の使用条件で圧力分布を見られるのはプレスケールのみ。圧力の均一性を定期的に確認することによって**調整時間を短縮して材料ロスも削減。**

プレスケールの詳細は　▶▶▶　http://fujifilm.jp/prescale/

※本カタログに記載の仕様および性能は、改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。使用している画像はイメージであり、実際に測定したものとは異なります。

富士フイルム株式会社
産業機材事業部／〒107-0052　東京都港区赤坂9-7-3
Email　prescale-info@fujifilm.co.jp
URL　http://fujifilm.jp/business/material/prescale/index.html
https://fujifilm.jp/business/material/prescale/promotion/index.html